

講義名	日本語総合B（1年生のみ）			授業形態	
担当教員	小村 志保美	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

大学生活や日常生活において必要とされる日本語の基礎的かつ総合的な読解力をつける。身近な情報素材や簡単な説明文・指示文などから、アカデミックな文章まで段階性をもって読解を進め、その過程で内容を理解して要約できるようになることを目指す。

到達目標

大学の講義を受けたり、日常生活の様々な場面において必要となる日本語の読解ができるようになる。ある程度論理的にまとまった文章を読んで理解し、要約することができる。

提出課題

毎回、資料を配布する。ワークシートは授業内に完成させて提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート・レポート等は、日本語のチェックを含めた添削をして返却し、フィードバックする。

評価の基準

授業中の参加度（30％）、課題（ワークシート等）（30％）、中間レポート（20％）、期末レポート（20％）

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とする。全授業回数の1/3以上欠席した場合は、単位の認定ができない。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業計画

1. 科目オリエンテーション（授業の進め方・スケジュール・評価の方法）
身の回りの文書から情報を得る
2. お知らせや通知を読む
3. お知らせや通知を読む
4. 意見文や説明文を読む
5. 意見文や説明文を読む
6. エッセイや小説を読む
7. エッセイや小説を読む
8. 中間レポート フィードバック
9. 中間レポート フィードバック
10. 新聞を読む
11. 新聞を読む
12. アカデミックな文章を読む
13. アカデミックな文章を読む
14. アカデミックな文章を読む
15. 期末レポート

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/>	ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/>	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

【予習】事前配布した文書の語彙・文法をチェックし大意を把握しておく。… 2時間30分
【復習】返却されたフィードバックを自己評価し、次に生かせるようにする。… 1時間30分

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」等になるための基礎能力として、必要な日本語能力を身につけ、活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考